

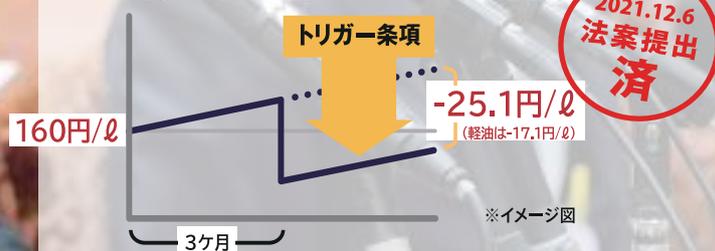


齋藤アレックス、 質問に立つ

質問の一部をご紹介します

- ◆ 原油価格の高騰対策 (2/1, 16)
- ◆ 給料が上がらない要因と対策 (2/1)
- ◆ 再生可能エネルギーの立地規制 (2/16)
- ◆ 農地における外来種による被害 (2/17)
- ◆ 感染症対策における国と自治体の役割分担 (2/17)

高騰するガソリン価格の引き下げのため、
ガソリン税を軽減するトリガー条項の発動を
政府に強く求めています。



衆議院議員
齋藤アレックス

夏の参院選で田島一成さんの推薦を決定!

国民民主党滋賀県連は、夏に予定されている参院選滋賀選挙区で田島一成さんを推薦することを決定いたしました。田島一成さんは、衆議院滋賀2区を地盤に長年活動を続け、4期にわたり衆議院議員を務めました。衆議院議員在任中は、生物多様性基本法の作成に携わり

環境副大臣を務めるなど、環境政策に精通しています。

今回、田島さんは、無所属で出馬し、国民民主党、そして立憲民主党から推薦を受ける形になります。何としても、この参議院選挙で国政復帰を果たし、環境政策をはじめとした様々な政策分野で経験と知見を活かしてもらいたいと思います。



衆議院議員 齋藤アレックス 連合滋賀会長 柿迫博 田島一成 参議院議員 嘉田由紀子 衆議院議員 徳永久志

「改革中道」「対決より解決」の姿勢で国政を担う仲間を増やすため、国民民主党滋賀県連は一丸となって取り組んでいきます。

滋賀県議会 感染状況にあわせたコロナ対策を

滋賀県議会は2月定例会議が2月14日に開会し、令和4年度一般会計予算などの予算案や滋賀県CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例の制定など52議案が提案されています。私は2月25日に一般質問に立ち、「新型コロナウイルス感染症の検査」について問い、積極的疫学調査に要する時間を可能な限り短く維持するよう提言しました。また、「グリーンインフラ※」についても質問しました。

新型コロナウイルス感染症の状況は、感染拡大しているのが、職場、福祉の施設、学校・園、そして家庭となっていて、主に人流の抑制で対応してきたこれまでとは状況が大きく変わっています。現状の「まん延防止等重点措置」の適用のできる対策は飲食店などの営業制限による人流抑制が主であり、今の感染状況にあつた対応となっていないところに問題があります。国民民主党として国で議論するよう提言しました。

※グリーンインフラ：社会資本整備や土地利用などのハード・ソフトの両面において自然環境が持つ多様な機能を活かし、持続可能で魅力あるまちづくりを進める取り組みのこと。地域のオープンスペースを緑地や農地として整備することでヒートアイランドの抑制効果や良好な景観を得ること、屋上緑化で雨水の貯留効果を得ることなどがこれにあたります。



滋賀県議会議員
河井 昭成

大津市議会 2月通常議会始まる

2月21日～3月25日の期間で2月通常会議が始まりました。過去最高となる令和4年度予算案の審議が主な議題となります。内容としては大きく分けて2つとなります。1つ目の「時代の変化に沿った取組」は、大津市の人口維持施策や、市内の経済活性化、デジタル化への対応など5項目に及びます。2つ目の「大津市総合計画第2期実行計画リーディングプロジェクトの推進」は、子育て支援、学びの環境づくり、魅力発信とにぎわいづくりプロジェクトなどです。その他特別会計や、条例改正を含め40件の議案が提出されました。

私たちがそれぞれの常任委員会で適正な予算計上となっているか執行部に問い質し、必要なところに使える予算となるよう審議して参ります。



大津市議会議員
船本 力



大津市議会議員
奥村 功



大津市議会議員
田中 知久

高島リビング・シフト構想とまちづくりについて

高島市では、平成12年には55,000人あった人口が本年1月末には46,864人まで減少するなど人口減少と少子高齢化という課題を抱えています。そうした中で、高島市がこれから進める「高島リビング・シフト構想」には、これからの時代を歩むためのさまざまな試みが盛り込まれています。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、コロナ禍の中でのテレワークの拡大、メタバースへの注目など、今後世界は距離と言語の壁を超えてつながっていきます。これは、地方にとっても大きなチャンスであり、豊かな自然の中で世界とつながり仕事をするスタイルを実現できる高島市は大きな可能性を秘めていると思います。私もIT専門家としての知見を踏まえ、今後とも新たな時代へのシフトのため尽力してまいりたいと思います。



高島市議会議員
早川 浩徳